

（イエスは弟子たちに次のたとえを語られた。）天の国はまた次のようにたとえられる。ある人が旅行に出かけるとき、僕たちを呼んで、自分の財産を預けた。それぞれの力に応じて、一人には五タラントン、一人には二タラントン、もう一人には一タラントンを預けて旅に出かけた。一タラントン預かった者も進み出て言った。御主人様、一タラントン、あなたのタラントンを地の中に隠しておきました。御覧ください。これがあなたのお金です。『主人は答えた。愚者の悪い僕だ。一タラントンも、そのタラントンをこの男から取り上げて、十タラントン持っている者に与えよ。だれでも持っている人は更に与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる。』マタイ25章

## タラントンのたとえ

旧約聖書の創世記1章に、神さまの考えかたが書かれています。“つくられたすべてのものは良かった。”というのです。神さまがつくられたものはすべてが良かったのです。

ところが、神さまの言いつけにそむいて「善悪の木の実」を取って食べた人類は、神さまの考えではなく自分の考えで、良いとか悪いとか決め直してしまい、弱肉強食の今の世界にしているのです。「神の財産」に価値の比較はありません。いわゆる、『東大』は価値があって五タラントン、『無学』は価値がなくて一タラントン。『健康』は価値があり五タラントン、『病気』は価値がなく一タラントンなどというのは、人間の価値観であって、神の価値観ではありません。神が造られたものは、すべて意味があって、すべて等しい「神の財産」です。ある人は高い能力をあずかり、ある人は生まれながらに病気をあずかります。そして地上の私たちの本当の仕事は、預かったその財産で、『神に仕え、神を賛美する』ことです。病気をもらった人はその病気で、『神に仕え、神を賛美して』世に神の栄光をもたらし、忠実な僕とされるのです。 昌川信雄神父